

○計画期間：平成 30 年 4 月～令和 5 年 3 月（5 年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成 30 年度終了時点（平成 31 年 3 月 31 日時点）の中心市街地の概況

本市では、平成 30 年 3 月に計画の認定を受け、「地域資源の魅力が織り成す、『暮らし』と『交流』の調和したまち」を目指し、平成 30 年 4 月から認定基本計画に基づき、各種事業を実施した。

平成 30 年度は、前計画に基づき整備した、県市合築の新図書館等複合施設「オーテピア」が 7 月 24 日にオープンし、中心市街地に新たな拠点が誕生した。平成 31 年 3 月末までの入館者数も当初の見込み（年間 1,000,000 人）のペースを上回る 747,393 人となった上に、中心商店街や周辺施設と連携したソフト事業を積極的に展開し、中心市街地の新たな賑わい創出や回遊性の向上につながっている。

また、同じく前計画に基づき整備した高知城歴史博物館をメイン会場として、平成 29 年 3 月から平成 31 年 1 月まで、歴史をテーマとする観光イベント「志国高知 幕末維新博」が開催されたことや、高知新港へのクルーズ客船の寄港数が順調に推移していることにより、中心市街地を訪れる観光客は確実に増加している。平成 31 年 3 月には、中心商店街に外国語対応可能な観光案内所「こうち観光ナビ・ツーリストセンター」を新たに開設し、今後さらに、外国人観光客を含む来街者の滞留時間の延長や回遊性の向上を図っていく。

商店街等では、長く営業を続けていた店舗の閉店がつづいた一方で、新規店舗の出店も多くあり、空き店舗率はほぼ横ばいの状況である。そのほか、映画館や商業店舗と共同住宅の複合施設の整備も進捗しており、今後更なる来街者の増加及び商業の活性化が期待される。

さらに、中心市街地では、街なか居住の受け皿となる民間分譲マンション等の建設が次々と進められており、今後都市公園リニューアル等を着実に進めながら、居住環境の向上を図るとともに、中心市街地の居住人口を確保していく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度 1 月 1 日）

（中心市街地区域）	平成 29 年度 （計画前年度）	平成 30 年度 （1 年目）
人口	5,019 人	5,103 人
人口増減数	-79 人	84 人
自然増減数	-46 人	-61 人
社会増減数	-24 人	150 人
転入者数	394 人	579 人
その他の増減数	-9 人	-5 人

2. 平成 30 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

高知市中心市街地活性化協議会としては、行政、関係団体等と協力・連携を図りながら、中心市街地活性化を推進した結果、計画に位置付けた事業は概ね順調に実施されたといえる。

平成 30 年 7 月には、県市合築の新図書館等複合施設である「オーテピア」が開館し、当該施設において多彩な企画も実施され、中心市街地に新たな賑わいが創出されたものと評価できる。また、年間を通じて、中央公園や中心商店街で開催される魅力的なイベントや、クルーズ船の寄港にあわせた外国人観光客のおもてなしや外国語対応可能な観光案内所を新たに整備する等の取組により、まちの魅力の向上が図られており、中心市街地を訪れる観光客の増加やエリア内の回遊性の向上につながっている。

これらの取組により、基本計画の目標指標である「中心市街地の居住人口の割合」「歩行者通行量」「拠点施設入館者数」については、いずれも最新値が基準値を上回っており、居住人口の減少や回遊性の偏りなどの、活性化推進に向けた課題も改善傾向にある。中心市街地内では、今後も新たな民間マンション建設に向けた動きもある。更なる活性化に向け、これまでの中心市街地活性化基本計画における事業効果を十分に活かし、官民一体となった取組を継続的に実施していくことが必要であると考えられる。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
「すべての世代が永く住み続けられるまち」の実現	中心市街地の居住人口の割合	1.52%	1.65%	1.59%	B	—	①
「多くの人回遊するまち」の実現	歩行者通行量(17地点)	119,447人	123,278人	121,330人	B	—	①
	東エリアの歩行者通行量【参考指標】	34,671人	35,585人	36,498人	A	—	①
	西エリアの歩行者通行量【参考指標】	80,045人	82,940人	79,730人	C	—	①
	周辺エリアの歩行者通行量【参考指標】	4,731人	4,753人	5,102人	A	—	①
「また訪れたいと思うまち」の実現	拠点施設入館者数(4施設)	1,159,555人	1,748,000人	1,363,273人	B	—	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成，B：基準値達成，C：基準値未達成

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり，目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが，このままでは目標達成可能とは見込まれず，今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの，目標達成可能と見込まれ，引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど，このままでは目標達成可能とは見込まれず，今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

中心市街地の居住人口の割合については，計画に搭載している「クリアホームズ高知駅前 ザ・レジデンス」等の整備事業が順調であることから，平成30年度の最新値は1.59%となっている。今後，中心市街地内に民間事業者によるマンション建設も予定されていることから，中心市街地の居住人口の割合の目標達成は，可能であると考えられる。

歩行者通行量（17地点）については，新たな拠点施設であるオーテピアや高知城歴史博物館におけるソフト事業の実施や「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業の完了など主要事業が順調

に進捗している効果もあり、平成 30 年度の最新値は、順調に増加している。また、課題であった中心市街地内での歩行者通行量の偏在化については、平成 30 年度の最新値では、これまで減少傾向であった東エリアや周辺エリアにおいても増加している。

〔 東エリア：（H28） 34,671 人→（H30） 36,498 人 〕
〔 周辺エリア：（H28） 4,731 人→（H30） 5,102 人 〕

拠点施設の入館者数については、前述のオーテピア等でのソフト事業の着実な実施や、高知市文化プラザかるぽーとにおける芸術文化振興事業及びまんがイベント事業の充実等により、平成 30 年度の最新値は、1,363,273 人と着実に増加している。

平成 31 年 3 月、中心商店街内に新たに外国人観光客向けの観光案内所「こうち観光ナビ・ツーリストセンター」を開設し、外国人観光客に対するエリア内の情報提供を充実させたことや、今後高知大丸リニューアル事業が順調に実施される見込みであること、そのほか、街なか空間有効活用事業や中心市街地インバウンド対策事業等についても、商店街等の民間事業者と連携した着実な実施が期待できることから、歩行者通行量及び拠点施設入館者数の目標達成は可能であると考えられる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

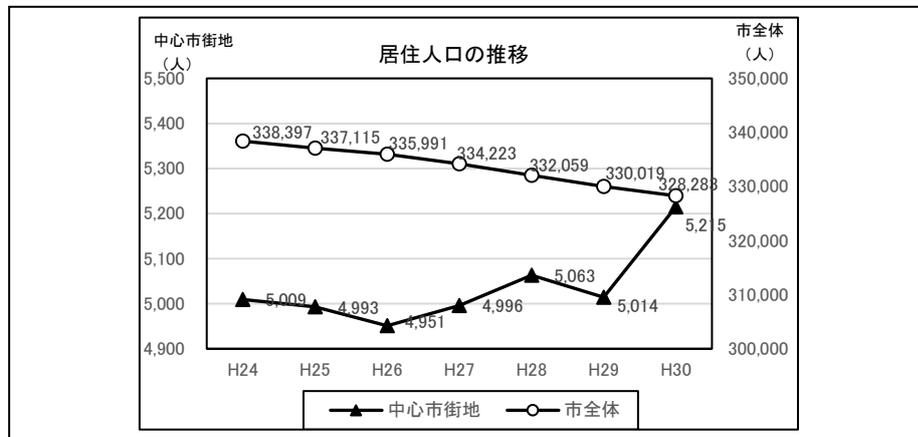
前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

I 「 中心市街地の居住人口の割合」

※目標設定の考え方基本計画 P68～P70 参照

●調査結果の推移



※調査方法：基本計画区域内の町丁目別及び市全体の住民基本台帳人口

※調査月：毎年4月1日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内及び高知市の居住者

年	(単位)
H28	1.52% (基準年値)
H29	1.52%
H30	1.59%
R 1	
R 2	
R 3	
R 4	1.65% (目標値)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① (仮称) 帯屋町一丁目地区複合施設整備事業 (民間事業者)

事業実施期間	平成30年度～令和3年度【実施中】
事業概要	商業店舗や映画館と共同住宅の複合施設を整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	既存建物にあった映画館が、平成31年1月から一時休館し、当該建物の解体工事に着工した。 計画：供給戸数51戸 82人の居住人口増加見込み(1戸あたり平均1.62人と仮定)
事業の今後について	令和3年度に竣工予定。共同住宅51戸を整備する予定であり、中心市街地における街なか居住の推進に寄与することが期待される。

② 「クリアホームズ高知駅前 ザ・レジデンス」整備事業 (セントラル総合開発株式会社)

事業実施期間	平成30年度【済】
事業概要	北本町二丁目地区において民間分譲マンションを整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成30年11月竣工。分譲戸数55戸のマンションが整備されたことにより、北本町二丁目地区の居住人口増加につながった。

	計画：供給戸数 55 戸 89 人の居住人口増加見込み 実績：計画通り 55 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了
③ 「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業（株式会社和田コーポレーション）	
事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	はりまや町一丁目地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年 12 月竣工。分譲戸数 42 戸のマンションが整備されたことにより，はりまや町一丁目地区の居住人口増加につながった。 計画：供給戸数 42 戸 68 人の居住人口増加見込み 実績：計画通り 42 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了
④ 「クリアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）	
事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	升形地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 31 年 2 月竣工。分譲戸数 38 戸のマンションが整備されたことにより，升形地区の居住人口増加につながった。 計画：供給戸数 38 戸 61 人の居住人口増加見込み 実績：計画通り 38 戸整備，完売
事業の今後について	事業完了
⑤ 移住・定住促進事業（高知市）	
事業実施期間	平成 27 年度～令和 4 年度【実施中】
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業概要	街の魅力や移住・定住に関する情報発信や，三世代同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援など，移住・定住を促進するための各種施策を実施するもの
事業効果及び進捗状況	移住希望者を対象に，街中をはじめとする市内を案内するガイドツアー（平成 30 年度 11 組 23 名）や，ホームページや SNS 等において，生活のしやすさ，利便性が高いことについて情報発信するととも

	に、三世同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援（同年度 11 組 37 名）などを実施した。
事業の今後について	引き続き、移住希望者対象としたガイドツアーの実施や各種補助の実施等により、移住・定住の促進に向けた移住支援を行っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

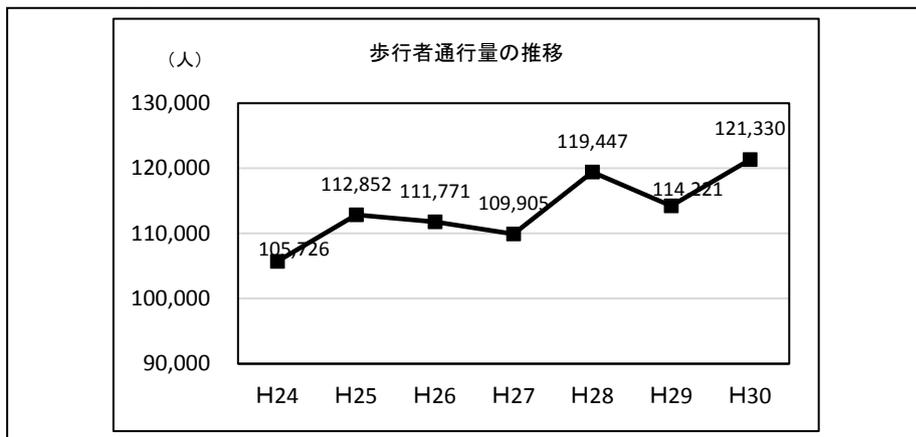
中心市街地の居住人口の割合については、主要事業である民間分譲マンションの整備事業が順調であること等から、平成 30 年度の最新値は、1.59%となっている。平成 31 年度については、中心市街地内に民間事業者によるマンション建設も予定されていることから、街なか居住は、今後一定推進されると見込んでおり、目標達成は可能だと考えられる。

一方で、中心市街地は、市全体と比較すると、高齢化が進んでいることから、今後居住人口が減少傾向になることも想定されるため、丸ノ内緑地整備事業や地域子育て支援事業等を確実に実施し、居住環境の向上を図っていく。

Ⅱ 「歩行者通行量（17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計）」

※目標設定の考え方基本計画 P71～P76 参照

●調査結果の推移



※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

※調査月：毎年 12 月

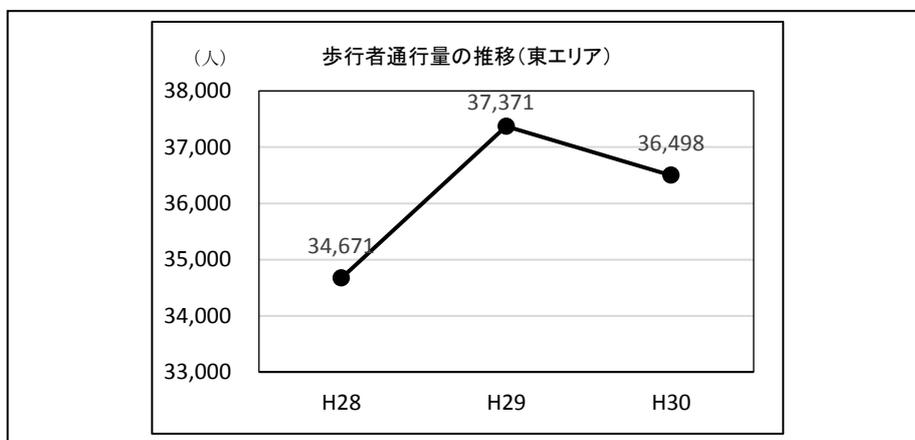
※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

年	(単位)
H28	119,447 人 (基準年値)
H29	114,221 人
H30	121,330 人
R 1	
R 2	
R 3	
R 4	123,278 人 (目標値)

<参考指標> エリア別の歩行者通行量

(参考指標① 東エリア (6 地点) の歩行者通行量)



※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

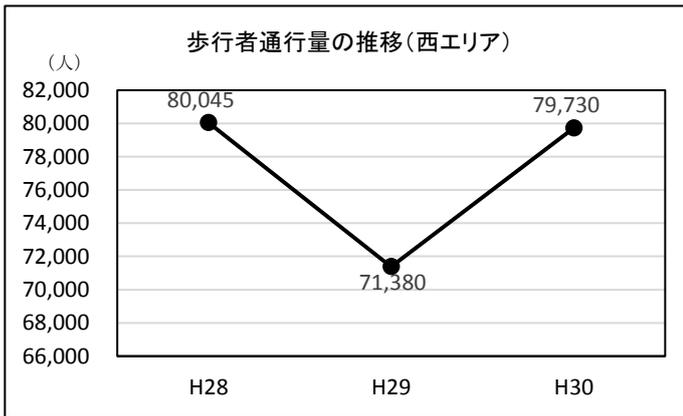
※調査月：毎年 12 月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

年	(単位)
H28	34,671 人 (基準年値)
H29	37,371 人
H30	36,498 人
R 1	
R 2	
R 3	
R 4	35,585 人 (目標値)

(参考指標②) 西エリア (8地点) の歩行者通行量



※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

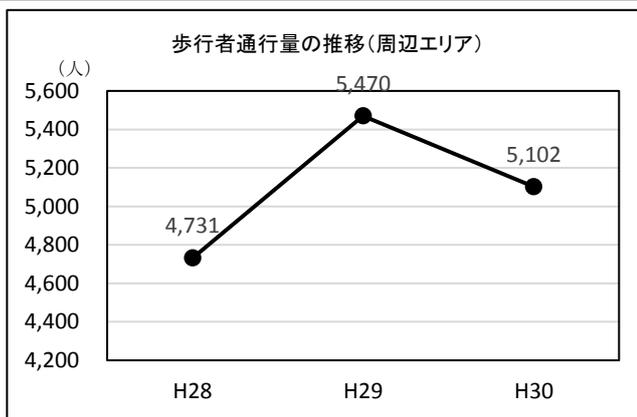
※調査月：毎年12月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

年	(単位)
H28	80,045人 (基準年値)
H29	71,380人
H30	79,730人
R1	
R2	
R3	
R4	82,940人 (目標値)

(参考指標③) 周辺エリア (3地点) の歩行者通行量



※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

※調査月：毎年12月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

年	(単位)
H28	4,731人 (基準年値)
H29	5,470人
H30	5,102人
R1	
R2	
R3	
R4	4,753人 (目標値)

① オーテピアにおけるソフト事業（高知県，高知市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや，日曜市・中心商店街と連携した取組を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	「土曜夜市」や「まちゼミ」といった中心商店街が実施する企画・イベントに積極的に参加するとともに，図書館総合展地域フォーラムの関連行事として日曜市散策ツアーを実施するなど，中心市街地内の他団体等との連携した取組を推進。平成 30 年度（開館後約 8 か月間）の入館者数は当初の予定（年間 1,000,000 人）を上回るペースの 747,393 人となり，中心市街地の賑わいの創出に寄与している。
事業の今後について	引き続き，「土曜夜市」や「まちゼミ」など，中心商店街が実施する企画・イベントに積極的に参画し，オーテピアから商店街の人の流れをつくっていく。

② 高知大丸リニューアル事業（株式会社 高知大丸）

事業実施期間	平成 30 年度～令和元年度【実施中】
事業概要	中心市街地に唯一立地する百貨店である高知大丸東館のリニューアルを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年度は，歩行者通行量調査等中心市街地の環境分析を実施し，リニューアル構想の検討を実施した。 計画：周辺商店街等の通行量が H28 の 34,671 人から 5%増加（+1,733 人）の見込み
事業の今後について	引き続きリニューアル構想について検討を行い，早ければ年度内に工事着手予定。当該百貨店の強みを生かすとともに，中心商店街におけるコミュニティスペースとしての機能を持たせることで，中心市街地の商業の活性化及び集客力の向上を図る。

③ 高知城歴史博物館ソフト事業（高知県）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知城歴史博物館において，多彩なイベント，日曜市や中心商店街との連携事業，情報発信等を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	歴史関連のまちあるき用パンフレットを発行するとともに，お城下ま

況	ちあるき企画を実施。また、近接した日曜市と連携した料理教室の開催や、中心商店街の「土曜夜市」に参加するなど、多彩なイベントの開催による効果等で、年間入館者数が106,247人となり、中心市街地の回遊性向上に貢献した。 計画：200,000人 実績：106,247人（H30）
事業の今後について	日曜市と関連したイベント、まちの歴史文化スポットに関する情報提供など継続して実施していく。

④ （仮称）帯屋町一丁目地区複合施設整備事業（民間事業者）【再掲】

事業実施期間	平成30年度～令和3年度【実施中】
事業概要	商業店舗や映画館と共同住宅の複合施設を整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	既存建物にあった映画館が、平成31年1月から一時休館し、当該建物の解体工事に着工した。 計画：供給戸数51戸、1戸あたり居住者1.62人で82人の居住者人口増加を見込み、居住者の半数が回遊と仮定 $82人 \div 2 \times 2（往復） \times 2日（平日・休日） = 164人増加$ 見込み
事業の今後について	令和3年度に竣工予定。共同住宅51戸を整備する予定であり、中心市街地における街なか居住の推進に寄与することが期待される。

⑤ 街なか空間有効活用事業（高知市、商店街振興組合、民間事業者）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	中心市街地に点在する未利用地や空き店舗、公共空間等においてイベントを開催する等有効利用を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成30年10月に、高知市と㈱高知大丸との間で、高知大丸の店舗内にある未利用スペースを有効活用するための協定を締結。当該スペースにおいて、市主催のイベント等を実施することにより、来街の促進を図る。また、はりまや橋商店街内の空き地では、定期的なイベントの開催や、外国人観光客向けのおもてなしの取組の実施等により、賑わいの創出を図る。 計画：H29の誘客数1,200人を10%増加させ、3か所程度回遊と仮定

	1,200人×10%×3=360人増加見込み
事業の今後について	行政・経済各団体等と協定を締結し、未利用スペースの有効活用により来街者の増加及び賑わいの創出を図る。

⑥ レンタサイクル事業（高知市）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	中心市街地を快適に回遊できるレンタサイクルの導入及び実施
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	<p>レンタサイクル利用者が便利に乗り降りできるよう、サイクルポートを中心市街地内随所に整備することで、来街者の回遊性の向上が期待できる。</p> <p>平成30年度は、先進市を視察し、事業効果及び課題の検討を行った。</p> <p>計画：平日75人、休日は平日の2.1倍の158人の利用を目指し、利用者の25%の人が3か所回遊と仮定 233人×25%×3=175人増加見込み</p>
事業の今後について	他市では民間事業者によるレンタサイクルサービスが提供されている地域もあり、今後は事業実施に向けた検討と並行して、その動向及び効果を検証していく。

⑦ 学生活動交流館事業、学生と商店街の連携事業（高知市、商店街振興組合、学生）

事業実施期間	平成25年度～令和4年度【実施中】
事業概要	京町商店街にある高知市学生活動交流館の運営及び当該施設における学生グループの活動支援を行うとともに、その他商店街と連携した学生主催のイベントを企画、実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成25年度～令和4年度）
事業効果及び進捗状況	<p>高知市学生活動交流館は、中心商店街の活性化につながる学生グループの自主活動の拠点としての利用をはじめ、市民グループの絵画展や写真展等に活用されており、来街の促進や交流人口の拡大に寄与している。また、高知大学の学生グループ主催の「スポ GOMI」や高知商業高校主催の「はりまやストリートフェスティバル」等のイベントも商店街の協力を得て開催されており、回遊性の向上につながっている。</p> <p>計画：160人増加見込み</p>
事業の今後について	高知市学生活動交流館において、学生グループ等が実施する作品展示、実習等の活動への貸出しを行う。また、利用率の向上にむけて、施設のPRを行う。

⑧ 「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業（株式会社和田コーポレーション）【再掲】

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	はりまや町一丁目地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 30 年 12 月竣工。分譲戸数 42 戸のマンションが整備されたことにより、はりまや町一丁目地区の居住人口増加につながった。 計画：供給戸数 42 戸，68 人の居住人口増加を見込み，居住者の半数が回遊と仮定 68 人÷2×2（往復）×2 日（平日・休日）=136 人の 歩行者通行量増加見込み 実績：全戸完売となり，居住人口及び歩行者通行量の増加に寄与している。
事業の今後について	事業完了

⑨ 「クリアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）【再掲】

事業実施期間	平成 30 年度【済】
事業概要	升形地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	平成 31 年 2 月竣工。分譲戸数 38 戸のマンションが整備されたことにより，升形地区の居住人口増加につながった。 計画：供給戸数 38 戸，61 人の居住人口増加を見込み，居住者の半数が回遊と仮定 61 人÷2×2（往復）×2 日（平日・休日）=122 人の 歩行者通行量増加見込み 実績：全戸完売となり，居住人口及び歩行者通行量の増加に寄与している。
事業の今後について	事業完了

⑩ まんがイベント事業，芸術文化振興事業（高知県，高知市，民間事業者）

事業実施期間	平成 15 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	まんがに関するイベントの開催や地元商店街と連携したイベント等を実施する。また，県民文化ホール，かるぽーと等での芸術・文化イベントの実施により来街促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 27 年度～令和 4 年度）

事業効果及び進捗状況	<p>「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」等、1年を通じてまんがに関するイベントを積極的に実施した。</p> <p>計画：利用者増加見込数 16,302 人 ÷ 想定営業日数 312 = 52 人 半数が商店街に移動し、2 か所回遊と仮定 52 人 ÷ 2 × 2 か所 × 2 日 = 104 人増加見込み 実績：H30 年度の利用者は 449,195 人であり、回遊性の向上に相当程度寄与している。</p>
事業の今後について	<p>「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を継続して実施するとともに、旧県立図書館に新たな情報発信拠点を整備するなどの取組により、来街の促進や交流人口の拡大を図る。</p>

⑪ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営を行い、よさこいをテーマとした展示やよさこい祭り開催時以外でもよさこいを体感できるイベントを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 25 年度～令和 4 年度）
事業効果及び進捗状況	<p>よさこい情報交流館での展示・企画を充実させるとともに、8月～12月の期間は毎週日曜に、当該施設が隣接するはりまや商店街でのよさこい鳴子踊り披露等を実施した。</p> <p>計画：入館者増加見込数 2,942 人 ÷ 想定開館日数 312 = 9 人 半数が商店街に移動し、2 か所回遊と仮定 9 人 ÷ 2 × 2 か所 × 2 日 = 18 人増加見込み 実績：H30 年度の入館者数は 60,438 人であり、回遊性の向上に相当程度寄与している。</p>
事業の今後について	よさこい情報交流館あり方検討を踏まえた、よさこい情報交流館の運営（インバウンド観光推進、全国よさこい情報の充実化、商店街との連携強化等）や、よさこい企画展の開催などに引き続き取り組むことで、来街の促進や回遊性の向上を図っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

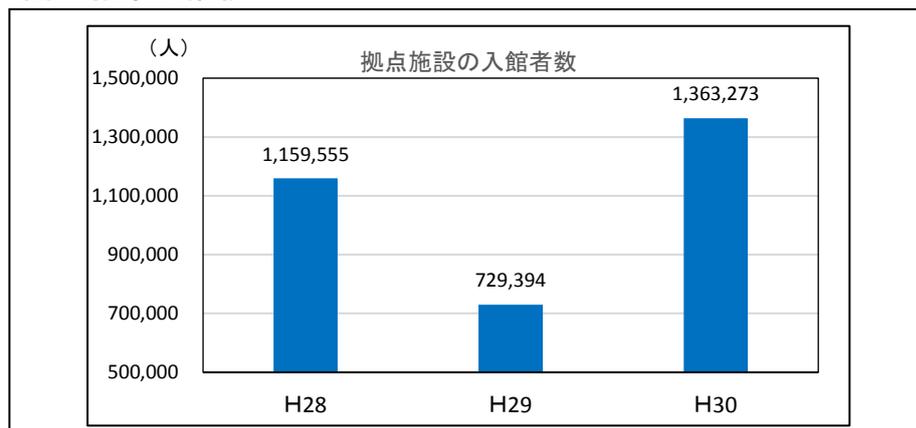
歩行者通行量（17 地点）については、平成 30 年 7 月に新たな拠点施設であるオーテピアが開館したことや、高知城歴史博物館をメイン会場として、平成 29 年 3 月から平成 31 年 1 月まで、歴史をテーマとする観光イベント「志国高知 幕末維新博」が開催されたこと等の影響を受けて、平成 30 年度の調査では、121,330 人となっている。また、高知新港へのクルーズ客船も一定の寄港数を維持しており、外国人観光客を含む県外観光客の入込数は増加傾向が続いてい

る。そのため、今後も主要事業等を着実に実施することで、目標達成は可能であると考えられる。

また、課題であった中心市街地内での歩行者通行量の偏在化については、平成30年度の調査では、これまで減少傾向であった東エリアや周辺エリアにおいても、歩行者通行量が増加している。これは、中心商店街全体としてイベント事業に取り組んでいる効果であると考えられる。平成29年度は減少していた西エリアについても、オーテピア及び高知城歴史博物館における多彩なソフト事業の展開により新たな賑わいが生まれている。加えて、平成30年3月に開設した観光案内所での情報提供の充実や、高知大丸リニューアル事業等について、今後も官民で連携して実施し、更なる回遊性の向上を図ることで、中心市街地の活性化に取り組んでいく。

Ⅲ 「拠点施設入館者数」 ※目標設定の考え方基本計画 P84～P87 参照

●調査結果の推移



年	(単位)
H28	1,159,555 人 (基準年値)
H29	729,394 人
H30	1,363,273 人
R 1	
R 2	
R 3	
R 4	1,748,000 人 (目標値)

※調査方法：拠点施設（4施設）ごとに日常的に計測し、年間入館者数を集計

※調査月：毎年4月

※調査主体：高知県，高知市

※調査対象：オーテピア，高知城歴史博物館，かるぽーと，高知よさこい情報交流館の4施設（H29年度はオーテピアが開館前のため，3施設の入館者数の合計値）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①オーテピアにおけるソフト事業（高知県，高知市）【再掲】

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや，日曜市・中心商店街と連携した取組を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	「土曜夜市」や「まちゼミ」といった中心商店街が実施する企画・イベントに積極的に参加するとともに，図書館総合展地域フォーラムの関連行事として日曜市散策ツアーを実施するなど，中心市街地内の他団体等との連携した取組を推進。 計画：1,000,000人 実績：747,393人（H30年度は約8か月間の集計）
事業の今後について	引き続き，「土曜夜市」や「まちゼミ」など，中心商店街が実施する企画・イベントに積極的に参画し，オーテピアから商店街の人の流れをつくっていく。

② 高知城歴史博物館ソフト事業（高知県）【再掲】

事業実施期間	平成28年度～令和4年度【実施中】
事業概要	高知城歴史博物館において，多彩なイベント，日曜市や中心商店街と

	の連携事業、情報発信等を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業効果及び進捗状況	歴史関連のまちあるき用パンフレットを発行するとともに、お城下まちあるき企画を実施。また、近接した日曜市と連携した料理教室の開催や、中心商店街の「土曜夜市」に参加するなど、多彩なイベントを開催した。 計画：200,000人 実績：106,427人
事業の今後について	日曜市と関連したイベント、まちの歴史文化スポットに関する情報提供など継続して実施していく。

③ まんがイベント事業、芸術文化振興事業（高知県、高知市、民間事業者）【再掲】

事業実施期間	平成 15 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	まんがに関するイベントの開催や地元商店街と連携したイベント等を実施する。また、県民文化ホール、かるぽーと等での芸術・文化イベントの実施により来街促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 27 年度～令和 4 年度）
事業効果及び進捗状況	「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」等、1 年を通じてまんがに関するイベントを積極的に実施し、回遊性の向上に一定の効果があったと考える。 計画：491,000 人（基準値から約 3.4%増） 実績：449,195 人
事業の今後について	「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を継続して実施するとともに、旧県立図書館に新たな情報発信拠点を整備するなどの取組により、来街の促進や交流人口の拡大を図る。

④ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）【再掲】

事業実施期間	平成 25 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営を行い、よさこいをテーマとした展示やよさこい祭り開催時以外でもよさこいを体感できるイベントを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 25 年度～令和 4 年度）
事業効果及び進捗状況	よさこい情報交流館での展示・企画を充実させるとともに、8 月～12 月の期間は毎週日曜に、当該施設が隣接するはりまや商店街でのよさ

	こい鳴子踊りを披露し、集客効果が生まれている。 計画：57,000人（基準値から約5.4%増） 実績：60,438人
事業の今後について	よさこい情報交流館あり方検討を踏まえ、よさこい情報交流館の運営（インバウンド観光推進、全国よさこい情報の充実化、商店街との連携強化等）や、よさこい企画展の開催などに引き続き取り組むことで、来街の促進や回遊性の向上を図っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

拠点施設の入館者数については、オーテピアや高知城歴史博物館でのソフト事業の着実な実施や、高知市文化プラザかるぽーとにおける芸術文化振興事業及びまんがイベント事業の充実等により、平成30年度の最新値は、1,363,273人と着実に増加している。

また、各拠点施設では11月には「お城下文化の日」として、中心市街地内にある文化施設が連携したイベントの開催や、中心商店街と連携した事業の展開等、新たな賑わいの創出や回遊性の向上に寄与する取組を実施している。

さらに、高知よさこい情報交流館については、平成30年度に次期指定管理者を選定し、平成31年4月から新たな事業計画に基づく運営を行う。当該事業計画の推進に当たっては、中心市街地の現状を踏まえ、インバウンド観光の推進や中心商店街との連携強化についても取り組んでいくことにしている。